

研究課題名	成人・高齢者における呼吸器ウイルス感染の実態とその影響に関する観察研究
研究機関名	武蔵野赤十字病院
研究責任者	所属 感染管理室・小児科 氏名 長澤 正之
研究期間	臨床研究倫理審査委員会承認後 ～ 2024年10月
研究の意義・目的	新型コロナウイルス・パンデミックを契機に臨床診療領域に多種のウイルスを網羅的に感度・特異性よく調べるMultiplex PCR検査法が広がりました。この検査法は小児感染症領域に大きなインパクトを与えました。入院が必要となる呼吸器ウイルス感染症の8割以上で原因ウイルス同定が可能になり、不要な抗菌薬投与が削減され、また治療経過が予測しやすくなり、適切な治療選択に役立ってきました。一方、今までほとんど顧みられなかった成人・高齢者においても頻度は小児に比べ少ないものの、一定の頻度で呼吸器ウイルスが検出されることがわかってきました。新型コロナウイルスやインフルエンザウイルス感染以外で、小児でみられる一般的な呼吸器ウイルスの成人・高齢者における臨床的な意義については不明な点があり、解析研究が進んでいません。本研究では、成人・高齢者に検出された呼吸器ウイルスの影響を後方視的に解析することで、これら一般呼吸器ウイルスの成人・高齢者の健康にあたる役割を解き明かす一助になると考えます。
研究の方法 (対象期間含む)	方法:後ろ向き調査観察研究 対象期間・対象・調査項目:2021年1月から2024年6月の期間に、当院で鼻咽頭検体を持ちいたmultiplex PCR検査を受けた小児及び成人全ての患者を対象とする。Multiplex PCR検査機器はFilmArray(ヒオメリュー社)を用いて行う。FilmArray呼吸器パネルが扱う病原体は、アデノウイルスコロナウイルスHKU1, 229E, OC43, SARS-CoV2、インフルエンザ A, A/H1, A/H1pdm, A/H3, B、パラインフルエンザ1, 2, 3, 4, RSウイルス、ヒトライノウイルス・エンテロウイルス、ヒトメタニューモウイルス、百日咳、パラ百日咳、クラミジア・ニューモニエ、マイコプラズマ・ニューモニエの21種。利用する情報は、カルテから得られる下記に示した内容のみで、患者への聞き取り・アンケート調査などは行わない。
①試料・情報の利用目的及び利用方法(匿名加工する場合や他機関へ提供される場合はその方法含む) ②利用し、又は提供する試料・情報の項目 ③利用する者の範囲 ④試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称	① 後ろ向き調査観察研究であり、臨床検査データベースより情報を収集し統計学的解析を行う ②調査項目:患者年齢・検査日時・FilmArray検査結果・入院の有無および入院期間・最終診断・血液検査結果・合併症・転帰 ③感染管理室・小児科:長澤正之 ④感染管理室・小児科:長澤正之
問合せ先	当研究に自分の試料・情報利用を停止する場合等のお問合わせ 〒180-8610 東京都武蔵野市境南町1-26-1 武蔵野赤十字病院 所属 感染管理室・小児科 氏名 長澤 正之 TEL:0422-32-3111(代表)6812(事務局内線) FAX:0422-32-3525